

NEM Novice Expert ratio Method

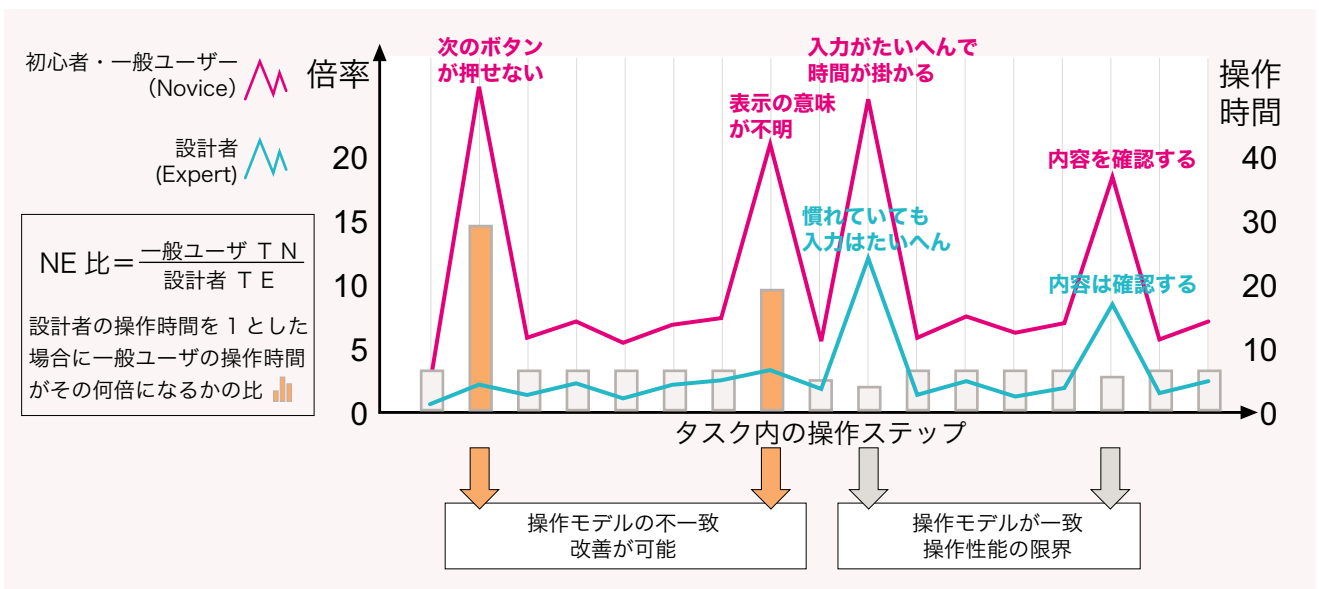
設計者と初心者ユーザーの操作時間比較によるユーザビリティ評価手法

A usability evaluation method that compares task performance between expert and novice.

※ Reference: 鱗原晴彦、古田一義、田中健一、黒須正明
「設計者と初心者ユーザの操作時間比較によるユーザビリティ評価手法」
1999, ヒューマンインタフェースシンポジウム '99 論文集 p.537~p.542

設計者とユーザの間に生まれる操作モデルのギャップを客観的なデータとして抽出する定量的評価手法。

両者の操作時間（ある操作ステップから次の操作ステップに移るまでの時間）を比較することにより操作性の問題箇所を効率良く発見することができる。



設計者および一般ユーザーの操作時間を測定し上記のようなグラフ表示を行う。どの操作ステップの操作時間が長い、どの操作ステップの比率が高いかがグラフから直感的に把握することができる。

本評価手法ではいわゆる専門家でもなくても問題のある操作ステップを容易に発見できる点が従来にない運用上の大きな特長となっている。

本評価手法で抽出される N/E 比を用いて商品の操作性能を定義することが可能になる。操作性能とはその商品が背負う技術的、コスト的制約を除き、設計者がユーザーの操作モデルをどれだけ把握したかを測定するもので、当該製品における操作性検討への取り組み姿勢が数値化されるものといえる。

また、N/E 比および素データには様々な情報が含まれており、さらに操作性を客観的に比較できる方法を研究・分析中である。本評価レポート中では素データを提示し考察に役立てた。

尚、現在分析に用いる設計者データは実際の設計者ではなく、社内のユーザビリティ評価の専門家が評価機種の学習を行ってから操作するデータを代用している。

操作性能の定義

$$\text{操作性能} = \frac{S - NEh}{\text{全操作ステップ数 } S}$$

NEh = NE 比が高い操作ステップ数

操作性能・・・商品の使い勝手を測るものさしとなり得る
(改善すべき操作対象が多いか少ないか)